

目 次

はじめに

I 基本的な考え方

- 1 『尊厳ある看取り』とは 1
- 2 終末期の考え方 2
- 3 倫理的配慮と意思確認 3

II 尊厳ある看取りのための要点

- 1 意思確認の実際 4
 - 意思確認に必要な書類（同意書） 参考資料20～21
- 2 終末期における輸液療法のあり方 6

III 看取り介護のながれ

- 1 利用者の体調変化の観察・医師の診断 7
- 2 本人・家族への説明と同意 8
- 3 看取り介護のカンファレンス・ケアプラン 9
- 4 看取り介護の実際
 - (1) チームケアによる看取り介護 9
 - (2) 具体的な支援内容 10
 - (3) 家族に対する支援 12
 - (4) 緊急時における連絡体制 12
 - (5) 医師・看護師との連絡体制 12
 - (6) 臨死期(死亡の数日前から死亡まで)の観察のポイント 13
 - (7) 死亡時の状態 14
 - (8) 死亡時の支援 15
 - (9) 死後の処置（エンゼルケア） 15
 - (10) グリーフケア（悲嘆のケア） 16
 - (11) デスカンファレンス（看取り後のふりかえり） 16

IV 看取り介護に取り組む上での課題と対応

- 1 看取り研修の充実 17
- 2 看取りが可能な医師の連携体制のために 18
- 3 看取り体制の強化 18
- 4 本人と家族の意向確認・情報提供の充実 18

参考資料

- 終末期及び看取り介護のための同意書（例） 20
- 終末期及び看取りにおける確認事項（例） 21
- 平成24年度広島県内の特別養護老人ホーム看取り実態調査の概要 22

参考文献

. 23